



町村自治

4月 2012 平成 24年

● 発行所 青森県町村会 ● 編集発行人 山口 昇 ● 印刷所 長尾印刷(株)
〒030-0801 青森市新町二丁目4番1号(年4回発行) TEL 017-723-1331 FAX 017-723-1347
ホームページ <http://www.aomori-chousonkai.jp/> E-mail ack@aomori-chousonkai.jp



蓬田村にも春の訪れ

蓬田村と言えばやっぱり桃太郎トマト。雪深い厳寒の1月下旬から、暖房の効いた育苗ハウスの中で手作業により行われているトマトの苗木の接木作業が終盤を迎えています。今年も、農家が待ちに待った苗木の定植作業がもうすぐ始まり、蓬田村にも本格的な春が訪れようとしています。

【No. 1194】

〔トマト苗木の^{つぎき}接木作業 ^{よもぎたむら}蓬田村〕

- 本会定期総会…………… 2
- 自治功労者表彰名簿…………… 4
- 本会会務活動他…………… 6
- まちづくりへの挑戦 東北町…12
- 24年度本会事務分担……………16
- 随想 古川蓬田村長……………18

行くたび、
あたらしい。
青 AOMORI 森



マスコットキャラクター
「いくべえ」

東日本大震災からの復興、地方交付税総額の復元増額など決議

永年の功績を称えて全国・県表彰



定期総会には町村長をはじめ約40人が出席



来賓の三村知事はじめ、白石県町村会議長、会長、田辺県総務部長、大川県市町村振興課長

本会は二月十七日、青森市のラ・プラス青い森で定期総会を開催し、平成二十四年度事業計画及び予算などを決定したほか、東日本大震災からの復興など十一項目の決議を採択した。また議事に先立ち、全国町村会表彰の伝達及び青森県町村会表彰として自治功

定期総会には、三村知事はじめ来賓、被表彰者及び町村長など約四十人が出席した。はじめに越善会長があいさつし、「本日表彰を受けられる皆様には、このたびの荣誉に対し心から敬意を表し、お喜びを申し上げる。さて、二十四年度の政府予算案では、地方交付税が約八百億円増の十七兆四千五百億円と五年連続の増額となったが、今後も町村の厳しい財政状況は続く。地方交付税の安定的な交付や、一括交付金での町村への配慮、自動車諸税の維持存続等引き続き、国へ求めていく。住民一人ひとりが「この町や村に住んで良かった」と実感できる町村の実現のために、邁進していく」などと述べた。

表彰

自治功労者

表彰では、全国町村会表彰として、自治功労者の逢坂前平内町長、本田深浦副町長、福田板柳副町長ほか、医師六名、一般職員百五十名、系統町村会一般職員一名に表彰状と記念品を伝達した。

また、県町村会表彰として、自治功労者の太田佐井村長、本田深浦副町長ほか、一般職員六十八名、系統町村会の職員一名に表彰状と記念品を授与した。

最後に、被表彰者を代表して太田佐井村長が謝辞を述べた。

議事

二十四年度予算を 原案どおり決定

表彰終了後、来賓の三村知事が祝辞を述べ、また、同じく来賓として出席の白石県町村議会議長会会長、田辺県総務部長、大川県総務部市町村振興課長が紹介された。

引き続き、越善会長が議長となつて議事に入り、平成二十四年度事業計画及び予算など議案三件について審議し、それぞれ原案どおり承認、決定した。

また、須藤副会長が「東日本大震災からの復興と農林水産品の風評被害対策並びに防災対策の強化を図ること」な



来賓の三村知事が祝辞を述べる



越善会長があいさつを述べる

ど十一項目の決議を朗読し、満場一致で採択した。なお、決議の実行運動の方法については、理事会に一任することとした。

なお、総会閉会后、事務局より「県市町村振興協会平成二十四年度予算のポイント」、県情報システム課より「市町村自治体クラウドの実現に向けて」に関し、それぞれ説明があった。

議案及び決議の内容は次のとおり。

○議案第一号 平成二十四年度青森県町村会事業計画（抜粋）
〓 町村を取りまく環境は、昨年三月発生の震災対応と急速に進展する過疎化、少子高齢化や経済不況が続く中で、地域経済の活力低下という極

めて厳しい状況下にある。

こうした中、町村が自己決定・自己責任の原則に基づいた多様で個性的な地域社会を目指すには、財政基盤の充実・強化が不可欠である。

このため、平成二十四年度の会務運営は、県、全国町村会及び関係団体と連携を緊密にして、町村自治確立のため、町村財政基盤の強化など町村が抱える諸課題の解決に向けた政務活動を、県内町村の創意と英知を集結しながら積極的に行うとともに、本会の主要事業である町村長の健康維持増進のための健康管理事業をはじめ、町村長並びに町村職員の研修、表彰、町村職員採用試験、法令外負担金の規制、会報活動等をこれま



決議文を読み上げる須藤副会長

決議

昨年3月発生の東日本大震災は、未曾有の被害をもたらし、爪痕は深く被災地に刻まれたままである。

また、町村は、過疎化、少子高齢化の進行、経済不況が続く中で地域経済の活力の低下、雇用情勢の急速な悪化など、極めて厳しい環境下にある。

しかしながら、住民に最も身近な町村が、将来にわたり自主的・主体的な地域づくりの推進などの重責を担い続けていくためには、税源移譲と偏在性の少ない地方税体系を構築することや地方交付税の増額など、財政基盤の充実・強化が不可欠である。

また、町村は自己決定・自己責任の原則に基づき、創意・工夫に富んだ施策を展開し、住民が豊かさやゆとりを実感できる多様で個性的な地域社会をつくる重要な使命を担っている。

本日の定期総会にあたり、我々町村長は、直面する様々な課題に向けて、ここに決意を新たにして、次の事項を決議し、その実現のために鋭意邁進するものである。

- 1 東日本大震災からの復興と農林水産品の風評被害対策並びに防災対策の強化を図ること
- 1 交付税率を引き上げるとともに、三位一体改革において大幅に削減された地方交付税総額を復元・増額すること
- 1 真の地方分権改革を強力に推進すること
- 1 固定資産税の特例措置の見直し及び自動車関係諸税の制度堅持等により、町村税財源の確保を図ること
- 1 一括交付金は地方の自主性を高め、財政力の弱い自治体に配慮した制度設計とすること
- 1 TPP交渉への現状での参加に反対するとともに、農林漁業と農山漁村の再生を図ること
- 1 農林水産公共予算の復元と戸別所得補償等の財源確保により、食料・木材自給率を向上させるとともに、食の安全・安心の確保を図ること
- 1 東北新幹線全線開業効果の継続獲得を図ること
- 1 道路、生活環境など社会基盤整備に係る公共事業費の必要額を確保するとともに、道路交通ネットワークの整備促進を図ること
- 1 厳しい雇用情勢の中、雇用・就業機会の創出のため、効果的な雇用対策を推進すること
- 1 少子高齢化の進行に対応した医療・保健・福祉施策を強力に推進するとともに、地域医療の確保・充実のため医師確保対策を推進すること

で以上に効果的・効率的に実施していく外、共済関係八事業については、公有財産の保全、町村職員の生活安定を図る立場から、市町村に対して、加入・継続を積極的に推進し、もって町村の振興発展と活力ある地域社会の実現に寄与していくものである。

○議案第二号 平成二十四年度青森県町村会会費[〓]会費総額は、六百四十九万二千円とする。

○議案第三号 平成二十四年度青森県町村会一般会計予算[〓]収入支出予算総額を、収入支出それぞれ二億三千七百万円（対前年度比二百七十四万八千円、一・三%増）とする。

全国町村会表彰

優良町村・自治功労者（敬称略）

町村長（在職四期以上退任）

四期 東津軽郡 平内町

逢坂 雄一

副町村長・収入役・教育長

（在職十二年以上）

西津軽郡 深浦町 副町長

本田 満生

北津軽郡 板柳町 副町長

福田 幸盛

医師（在職十二年以上）

三戸郡 五戸町

新井田修久

三戸郡 南部町

千葉 茂夫

三戸郡 南部町

武田 眞

三戸郡 南部町

大久保文雄

三戸郡 南部町

高木 博徳

中部上北広域事業組合

福島 一郎

一般職の職員

（在職三十年以上）

平内町 江戸吉範、齋藤恵子

今別町 綿谷敏明、相内裕子、

神寿徳、中道時男、山田基、

中嶋正文、小鹿輝美、小鹿隆史、岩渕健、川村一樹、小林喜江子、藤巻秀幸、太田清子、小鹿京子、太田政彦、高橋峰子、嶋中由加子

外ヶ浜町 木村邦治、高畑要、最上祐司、高坂由一

蓬田村 八戸正春、三上あけみ、小松生佳、佐井邦彦

鱒ヶ沢町 鈴木孝俊、佐藤薫

深浦町 八木史、小山司、平沢彦一

西目屋村 村元博敏

藤崎町 小野信幸、対馬一、

横山精逸、対馬猛清、能登谷英彦、清野美宝子、天内則子、

佐々木貞子

大鰐町 澤田政三

田舎館村 成田政幸、須藤照枝、日村博文、三浦道好

板柳町 工藤忠、田村かおる、神幸、竹浪佳子、中嶋はぎの、大和田千佳子、齋藤和代、佐々木千賀子

鶴田町 渋谷丞治、神美幸、工藤里美、下山誠、柴田恵美子

中泊町 新野俊雄、横野彰吾、伊藤さとみ

野辺地町 橋本邦夫、乙部理子、駒井知広、江刺家忍、山田正巳、島谷祐悦、高松睦子

七戸町 高坂信一

六戸町 山本晃広、棟方晃祥、今出川弘、佐々木義秋、川村政則、川村星彦、外山昌彦

横浜町 鳥山薫

東北町 野村満義、沼山教一、小笠原道広、古内美智子

おいらせ町 小向道彦、赤坂千敏、金谷由岐子

六ヶ所村 高橋淳悦、橋本千秋、佐々木昭光、沼辺正剛、大関博英、祐川里美、中村祐子、上長根敬子、浜飯益人

大間町 古畑龍泉、小林まゆみ、御厩敷義子

東通村 氣仙静子、宮本武光、畑中みゆき、成田つる子、白川久子、坂本とも子、真手敬一、川原田聡、松館俊志、川端政敏



被表彰者を代表し太田佐井村長が謝辞を述べる

平成二十四年度事業計画などを審議

第1回理事会・支部委員会

本会は二月十七日の定期総

会に先立ち、一月三十日、青

森市のアップルパレス青森で、

平成二十四年第一回理事会を

開催した。出席者は、越善会

長ほか役員町村長十一人。

理事会では、二十四年度

事業計画などの議案四件及

び、定期総会次第などの協議

事項六件について審議し、そ

れぞれ原案どおり承認、決定

し、事業計画及び予算案は二

月十七日開催の本会定期総会

に提出することとした。

議案及び協議事項は次のと

議案

○議案第一号 平成二十四年

度青森県町村会事業計画案

○議案第二号 平成二十四年

度青森県町村会費案

○議案第三号 平成二十四年

度青森県町村会一般会計予算

案

○議案第四号 青森県町村会

常務理事及び職員の給与の特

例に関する規程の一部を改正

する規程案

協議事項

○協議事項一 平成二十四年

第一回青森県町村会定期総会

次第案並びに案件について

○協議事項二 決議案について

○協議事項三 平成二十五

年度予算編成及び施策に関する

要望運動案について

○協議事項四 町村長の健康

管理研修案について

○協議事項五 北東北三県町

村長中央研修会・交流会の実

施について

○協議事項六 町村長行政調

査研修の変更について

第一回自治協、生協支部委員会

理事会終了後、引き続き、

全国自治協会県災害共済支部

並びに全国町村職員生活協同

組合県支部は委員会を開催し、

二十四年度予算をそれぞれ原

案どおり承認、決定し、本会

定期総会に報告することとした。

議案は次のとおり。

○議案第一号 平成二十四年

度全国自治協会青森県災害共

済支部会計予算案

○議案第二号 平成二十四年

度全国自治協会青森県災害共

済支部会計予算案

青森県町村会表彰
自治功労者（敬称略）

町村長（在職十年以上）

下北郡 佐井村 村長

太田 健一

副町村長・教育長

（在職十五年以上）

西津軽郡 深浦町 副町長

本田 満生

一般職の職員

（在職二十五年以上）

平内町 寺嶋健一、荒内久美子、相坂秀子

外ヶ浜町 佐々木美智子、幸坂英明、五十嵐あけみ、松岡達郎

蓬田村 八戸正春

鱒ヶ沢町 安田久美子、工藤由美子、齋藤堤子

深浦町 三浦良一、西崎公慶、中原和洋、萱森惣七

西目屋村 小山内猛

藤崎町 石動了

板柳町 成田裕一、村上優子、安田眞理、成田知嘉子、對馬真哉、坪田一孝、高杉聡

鶴田町 佐藤儀郎、佐藤一人、中野伸康、渋谷朋樹、下山敏、長内順蔵

青森県町村会 土岐昌二

（在職三十年以上）

風間浦村 富岡宏、種市伸也、山本聡

佐井村 葛野多鶴子、田中晃

三戸町 大久保良子、荒谷美百紀、白山康子、高見章子、立花登志子、田丸実、山下猛

五戸町 大内孝三、黒沢満尋、館優子、川崎みほ子

田子町 菊地健二、中村洋子、山崎順子

南部町 佐々木俊昭

階上町 澤田充、引敷林広貴

新郷村 戸田ひとみ、高村郁子

中泊町 太田光平、小野妙子

七戸町 田嶋邦貴、原子保幸

六戸町 佐々木修子

東北町 蓬畑拓嗣

おいらせ町 畑中育子

六ヶ所村 中村由紀子、石久保裕子、赤石直子、及川悠子、長井隆之、米田末子、田端文子

大間町 南喜治、細川大広

東通村 畑中稔朗

風間浦村 浜辺久

三戸町 松原幸子

五戸町 畑山敦夫、相澤静、村上早苗、三浦安津子、金澤幸子

中部上北広域事業組合 蓬畑光哉、蛭名宏幸、立石奈緒子、藤田信夫、馬場慶子

公立金木病院組合 対馬恵久子、木下千秋、内村郁代子、田中とも子

北部上北広域事務組合 神かおり

三戸地区塵芥処理事務組合 奥山茂

三戸郡福祉事務組合 中村友子、川守田洋子、小渡和子

系統町村会の職員

（在職二十五年以上）

青森県町村会 吉本知己

度全国町村職員生活協同組合

青森県支部会計予算案

○議案第三号 平成二十三年度全国自治協会青森県災害共済支部会計補正予算（補正第二号）案

○議案第四号 平成二十三年度全国町村職員生活協同組合青森県支部会計補正予算（補正第二号）案

○議案第一号 青森県町村会常務理事及び職員の給与の特例に関する規程の一部を改正する規程案

協議事項

○協議事項一 平成二十四年度市町村長会議（町村の部）について 平成二十四年五月二十九日に開催される同会議で、次の十四項目を提言することを決定した。

青森県町村会

（在職二十五年以上）

度全国町村職員生活協同組合

青森県支部会計予算案

○議案第三号 平成二十三年度全国自治協会青森県災害共済支部会計補正予算（補正第二号）案

○議案第四号 平成二十三年度全国町村職員生活協同組合青森県支部会計補正予算（補正第二号）案

○議案第一号 青森県町村会常務理事及び職員の給与の特例に関する規程の一部を改正する規程案

協議事項

度全国町村職員生活協同組合
青森県支部会計予算案
○議案第三号 平成二十三年度全国自治協会青森県災害共済支部会計補正予算（補正第二号）案

提言事項等を協議
第2回理事会

第2回理事会

本会は三月二十三日、青森市の県共同ビルで第二回理事会を開催した。出席者は、越善会長ほか役員町村長十一人。理事会では、議案一件及び、二十四年度市町村長会議（町村の部）における提言事項などの協議事項二件について審議し、それぞれ決定した。

議案及び協議事項は次のとおり。

○議案第一号 青森県町村会常務理事及び職員の給与の特例に関する規程の一部を改正する規程案

協議事項

○協議事項一 平成二十四年度市町村長会議（町村の部）について 平成二十四年五月二十九日に開催される同会議で、次の十四項目を提言することを決定した。

青森県町村会

（在職二十五年以上）

度全国町村職員生活協同組合

青森県支部会計予算案

○議案第三号 平成二十三年度全国自治協会青森県災害共済支部会計補正予算（補正第二号）案

○議案第四号 平成二十三年度全国町村職員生活協同組合青森県支部会計補正予算（補正第二号）案

○議案第一号 青森県町村会常務理事及び職員の給与の特例に関する規程の一部を改正する規程案

協議事項

○協議事項一 平成二十四年度市町村長会議（町村の部）について 平成二十四年五月二十九日に開催される同会議で、次の十四項目を提言することを決定した。

青森県町村会

（在職二十五年以上）

度全国町村職員生活協同組合

青森県支部会計予算案

○議案第三号 平成二十三年度全国自治協会青森県災害共済支部会計補正予算（補正第二号）案

○議案第四号 平成二十三年度全国町村職員生活協同組合青森県支部会計補正予算（補正第二号）案

○議案第一号 青森県町村会常務理事及び職員の給与の特例に関する規程の一部を改正する規程案

協議事項

○協議事項一 平成二十四年度市町村長会議（町村の部）について 平成二十四年五月二十九日に開催される同会議で、次の十四項目を提言することを決定した。

青森県町村会

（在職二十五年以上）

- 1 東日本大震災の復興対策について
- 2 町村財政基盤の充実強化について
- 3 東北新幹線全線開業効果の継続獲得について
- 4 電子行政の推進について
- 5 海岸漂着物の廃棄処理対策について
- 6 総合的な子育て支援対策の推進について
- 7 地域医療対策について
- 8 国民健康保険及び後期高齢者医療制度について
- 9 障害者保健福祉施策の推進について
- 10 雇用施策の推進について
- 11 農林水産業の振興について
- 12 社会基盤の整備促進等について
- 13 教育施策等の推進について
- 14 世界遺産白神山の遺産登録二十周年記念事業について

○協議事項二 平成二十四年度町村長行政調査研修案について

今冬の豪雪に関して関係省庁に要請

除排雪経費の 特別交付税配分 を求める

県と合同で総務省に

本会は一月十七日、県と合同で二十三年度特別交付税に係る総務省への説明を実施した。

これは、今冬の豪雪により町村の除排雪作業に係る費用が増大していることを受け、特別交付税による国の財政支援を求め実施した。

説明には、本会の越善会長や三村県知事が参加し、総務省の岡本総務事務次官、椎川自治財政局長、米田大臣官房審議官（財政制度・財務担当）に面談のうえ、特別交付税の配分を強く求めた。

また、国土交通省の関水管理・国土保全局長、菊川道路局長にも面談のうえ、今冬の降雪・積雪状況を説明した。

除雪に関する市町村道の状況を説明

国交省に支援要請

本会は三月七日、除雪に関する市町村道の状況を説明するため、国土交通省を訪問した。

これは、今冬の豪雪が交通障害など生活に大きな影響を及ぼしており、冬期間の円滑の交通を確保するため、国の財政支援や雪寒指定路線の指定要件の緩和等を求め実施した。

本会は三月七日、除雪に関する市町村道の状況を説明するため、国土交通省を訪問した。

説明には、本会の関副会長が参加し、国土交通省道路局の三浦国道・防災課長に面談のうえ、今冬の降雪・積雪状況等を説明したほか、国土交通省東北地方整備局の川瀧道路部長に対しても同様に説明を行った。

説明内容は次のとおり。

除雪に関する市町村道の状況

今冬は、度重なる寒波の襲来により、県内市町村は平年の降雪・積雪を大幅に上回る状況になっており、交通障害など生活に大きな影響を及ぼしております。

市町村道の除排雪に係る財政措置については、普通交付税、特別交付税に加え、社会資本整備総合交付金における雪寒指定路線の除雪事業が対象となっております。

しかし、道路の改築等により道路管理延長が増えているにもかかわらず、「積雪寒冷特別地域における道路交通の確保に関する特別措置法」に基づく雪寒指定路線の見直しは、この20年間ほど行われていないため、交付対象とならない道路延長が増加してきております。

また、市町村は降積雪量により迅速で柔軟な対応が求められております。

雪国の重要課題である冬期間の円滑な交通を確保するために、次の事項に対する配慮が必要です。

- 1 今冬の豪雪に対する市町村道除排雪事業への支援
- 2 雪寒指定路線の指定要件の緩和及び雪寒指定路線の見直し
- 3 除雪費は、降積雪量により大きく変化することから、降積雪の実態を反映した柔軟な予算措置ができる制度とすること



議会定例会の様子

24年度予算など決定 滞納整理機構設立 に伴い条例改正

総合事務組合議会定例会

改正など、十五件の議案と一件の報告事項の提案理由を説明し、それぞれ審議した結果、原案どおり承認、決定した。
議案・報告は次のとおり。

議案

- 議案第一号 平成二十四年度青森県市町村総合事務組合一般会計予算案Ⅱ歳入歳出予算総額を、歳入歳出それぞれ七億九千六百四十三万余円とする。
- 議案第二号 平成二十四年度青森県市町村総合事務組合市町村税滞納整理特別会計予算案Ⅱ歳入歳出予算総額を、歳入歳出それぞれ九千七百五十二万余円とする。
- 議案第三号 青森県市町村総合事務組合議会議員の選挙区及び定数条例の一部を改正する条例案
- 議案第四号 青森県市町村総合事務組合事務局設置条例の一部を改正する条例案
- 議案第五号 青森県市町村総合事務組合職員定数条例の一部を改正する条例案
- 議案第六号 青森県市町村総合事務組合任期付職員の採用等に関する条例案

県市町村税滞納整理機構が設立

市町村税の徴収率の向上へ

本県の市町村税の徴収率の向上を図るため、県内三十六市町村、青森県市町村総合事務組合及び県が連携して、平成二十四年四月一日に「青森県市町村税滞納整理機構」が設立された。

要性が高まる中、地方の自立促進のためには、税収と税負担の公平性を確保していくことが求められている。しかし、市町村税を取り巻く環境は、昨今の厳しい経済情勢を反映して、徴収率の低下や滞納額の増大など非常に深刻な状況が続いている。

1. 機構設立の背景

三位一体改革による国から地方への税源移譲に伴い、自主財源としての市町村税の重

特に青森県の市町村税（国保税除く）の徴収率は、平成二十二年度実績で九〇・二％と全国最



「青森県市町村税滞納整理機構」序幕式

下位レベルであり、徴収率向上と滞納額縮減が喫緊の課題となっている。

このため、県内市町村、青森県市町村総合事務組合及び県が連携して、市町村税等の滞納整理を市町村と協働して行う専門機関として、平成二十四年四月一日付で青森県市町村総合事務組合内に「青

森県市町村税滞納整理機構」を設立し、市町村税等の徴収強化を図る。

2. 機構の業務とその効果

青森県市町村税滞納整理機構は滞納整理を専門に行う機関で、青森県市町村総合事務組合の職員及び県からの派遣職員等で構成される。

機構では参加市町村から移管された滞納事案について、広範囲で徹底した財産調査を行い、換価できる財産を発見し、これらの財産を差し押さえ、公売することで市町村税を徴収する。また、厳正な滞納処分によって滞納者の納税意識の高まりも期待できる。

〇組織概要

1 名称	青森県市町村税滞納整理機構
2 性格	青森県市町村総合事務組合（地方自治法第284条第2項の規定に基づく一部事務組合）の局としての位置付け
3 設立	平成24年4月1日
4 所在地	〒030-0801 青森県青森市新町2丁目4番1号 青森県共同ビル8F
5 構成団体	青森県内の36市町村
6 執行体制	・機構長 1名（県派遣職員） ・滞納整理課 9名 （市町村総合事務組合職員4名、県派遣職員2名、任期付職員2名、臨時職員1名）
7 処理業務	・構成団体から移管された市町村税（国保税を含む）の滞納事案に係る滞納整理 ①徴収金の徴収 ②滞納者に係る財産の調査・差押え ③差押財産の換価（取立てを含む）・配当 ④滞納処分の執行停止、不納欠損処分の判定 ・滞納整理に関する研修会の実施
8 処理期間	原則として1年間
9 負担金	・機構の運営に必要な経費を構成団体である市町村が応益による負担をする。 ・負担方法は、移管件数割額、徴収実績割額とする。

- 〇議案第七号 青森県市町村総合事務組合職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例案
- 〇議案第八号 青森県市町村総合事務組合負担金条例の一部を改正する条例案
- 〇議案第九号 青森県市町村総合事務組合特別会計条例案
- 〇議案第十号 青森県市町村税滞納整理条例の一部を改正する条例案
- 〇議案第十一号 青森県市町村税等滞納整理事務の移管等に関する条例案
- 〇議案第十二号 青森県市町村消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例案
- 〇議案第十三号 青森県市町村等非常勤職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例案
- 〇議案第十四号 青森県自治会館行政財産使用料徴収条例の一部を改正する条例案
- 〇議案第十五号 青森県市町村行政財産である事務室使用料の改正を行うため。
- 〇議案第十五号 監査委員の選任について同意を求めるの件
- 〇報告第一号 専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件（平成二十三年専決第五号）
- 青森県市町村総合事務組合職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

町村職員採用試験

23年度実施状況と24年度実施について

23年度実施状況

町村等職員（一部事務組合等含む）の任用事務の公平・効率化を図るため、本会が町村等の要請に基づき実施する町村職員採用試験の二十三年度実施状況は下表のとおり。

実施日は、日本人事試験研究センターが定めた七月二十四日（日）、九月十八日（日）の二回の全国統一試験と、その他の期日に実施した個別試験。

実施団体は、三十一団体（二十一町・七村・三事務組合）、総受験申込者数は九百十九人となり、昨年度に比べ二団体、百二十六人の増となった。

24年度実施申込受付中

二十四年度に町村職員採用試験の実施を申込みする団体は、本会指定の期日までに、所定の様式にて本会へお知らせ願います。実施申込みや試験実施科目など、ご不明な点は本会業務課【電話017

(723) 13311 にお問い合わせ願います。

二十四年度町村職員採用統一試験の概要

試験期日・職種

- ・ 第一回（上級試験）
平成二十四年七月二十二日（日）
- ・ 第二回（中・初級試験）
平成二十四年九月十六日（日）

場所

第一、二回とも青森市内

実施申込方法

各団体に既にご案内している「平成二十四年度町村職員採用試験実施申込書」を、**四月二十七日（金）**までに本会へ送付願います。

その他留意事項等

- ・ 受験者数の報告
- 第一回（上級試験）は六月十五日（金）、第二回（中・初級試験）は八月九日（木）までに、受験者名簿を本会へ提出願います。
- ・ 公募方法
受験者公募の手続きは各団体が行うこととし、右記の名簿提出期日に間に合うよう公

平成23年度町村職員採用試験申込者数

(単位：人)

No.	団体名	職 種											合計
		上 級				中 級				初 級			
		行政	土木	保健師	薬剤師	一般	社会福祉	保健師	看護師	一般	消防	土木	
1	平内町	23	-	-	-	-	1	-	-	-	10	-	34
2	今別町	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
3	外ヶ浜町	-	-	-	-	-	-	-	-	22	-	-	22
4	蓬田町	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	15
5	鯉ヶ沢町	-	-	-	-	-	-	-	-	26	-	-	26
6	深浦町	-	-	-	-	-	-	-	-	22	-	1	23
7	藤崎町	80	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	93
8	田舎館村	-	-	-	-	-	-	-	-	47	-	-	47
9	板柳町	19	-	-	-	-	-	-	2	6	-	-	27
10	鶴田町	23	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	25
11	中泊町	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
12	野辺地町	-	-	-	-	-	-	-	-	69	13	-	82
13	七戸町	-	-	-	-	-	-	-	-	51	-	-	51
14	六戸町	23	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	28
15	横浜町	-	-	-	-	-	-	3	-	14	3	-	20
16	東北町	56	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	73
17	おいらせ町	32	-	-	-	15	-	-	-	18	-	-	65
18	六ヶ所村	11	-	-	-	-	-	-	-	6	2	-	19
19	大間町	3	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	9
20	東通村	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
21	風間浦村	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	10
22	佐井村	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	7
23	三戸町	15	-	-	-	-	-	-	9	6	-	-	30
24	五戸町	41	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41
25	田子町	9	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	15
26	南部町	2	3	-	1	-	-	-	-	6	-	-	12
27	階上町	46	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	53
28	新郷村	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	15
29	中部上北広域事業組合	-	-	-	-	-	-	-	-	9	10	-	19
30	三戸郡事務組合	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	7
31	鯉ヶ沢地区消防事務組合	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23	-	23
	合計	411	3	2	1	15	8	8	11	398	61	1	919

募をお願いします。受験票は各団体が作成し、試験当日に受験者が必ず持参するよう周知徹底を図ってください。

・ 試験当日の実施運営
例年どおり、試験実施団体
担当者の御協力をいただき対応いたします。

・ 担当者事前説明会

試験係員となる試験実施団体担当者を対象とした事前説明会を七月上旬に予定いたします。試験実施申込みのあった団体に後日ご案内します。

・ 経費負担
試験問題の作成及び採点に係る経費は、団体申込みの科目料金を申込人数に応じて負

担いただきます。

・ 個別試験
統一試験日以外の期日の個別試験の実施は、本会は問題用紙等の提供・採点のみ行います。実施団体は、試験日の一カ月前までに本会にご連絡

広報紙総合の部

「広報なかどまり」が特選

24年県広報コンクール

本会に事務局を置く県広報広聴協議会は、二月一日、青森市の県共同ビルで平成二十四年県広報コンクール審査を開催した。

同コンクールは市町村の広報活動の向上を目的に開催しているもので、県内市町村から広報紙十七点、写真三十三点、映像二点の応募があった。六名の審査委員による厳正な審査の結果、広報紙総合の部で中泊町の「広報なかどま

り」(23年12月号)が特選に、

三沢市の「広報みさわ」(23年9月号)が準特選となった。

上位入賞作品は、日本広報協会主催の全国広報コンクールに県代表として推薦し、四月に総合審査が行われ、入選作品が決定される。

なお、全国広報コンクールのウェブサイト部門には本県から二点を応募した。入賞作品は下記のとおり。

特選 中泊町「広報なかどまり」



平成24年青森県広報コンクール審査結果

広報紙部門(総合の部)

特選	中泊町	「広報なかどまり」	12月号※
準特選	三沢市	「広報みさわ」	9月号※

広報紙部門(市部)

入選	青森市	「広報あおもり」	9月1日号
佳作	弘前市	「広報ひろさき」	6月15日号
奨励賞	八戸市	「広報はちのへ」	8月号
奨励賞	黒石市	「広報くろいし」	9月1日号

広報紙部門(町村部)

入選	おいらせ町	「広報おいらせ」	11月号
佳作	東北町	「広報とうほく」	9月号
奨励賞	階上町	「広報はしかみ」	12月号
奨励賞	新郷村	「広報しんごう」	11月号

写真部門(一枚写真の部)

入選	十和田市	「広報とわだ」	12月号
佳作	東北町	「広報とうほく」	10月号
佳作	三戸町	「広報さんのへ」	11月号※
奨励賞	弘前市	「広報ひろさき」	11月15日号
奨励賞	三沢市	「広報みさわ」	5月号

写真部門(組み写真の部)

入選	中泊町	「広報なかどまり」	4月号※
佳作	十和田市	「広報とわだ」	10月号
奨励賞	八戸市	「広報はちのへ」	4月号
奨励賞	五戸町	「広報このへまち」	9月号

映像部門

入選	八戸市	「カクテルの街 はちのへ」
佳作	東北町	「東北町生き生き産業文化まつり」※

※印は日本広報協会主催の全国広報コンクールへの推薦作品
全国広報コンクールへの推薦団体は日本広報協会の会員団体

準特選 三沢市「広報みさわ」



審査委員

所属	職名	氏名
東奥日報社	営業編成局 整理部次長	館花光秀
デーリー東北新聞社	青森支社長代理	大嶋孟之
陸奥新報社	青森支社長	渋谷浩
青森放送	報道局長兼報道部長	山本恒太
青森テレビ	報道制作局長 兼報道部長	菊谷浩志
青森朝日放送	報道制作局長	山本修嗣

農山漁村の自立・再生を

農山漁村活性化研修会



「どうつくる 地域の力」と題し、大江氏が講演

本会に事務局を置く県市町村農業農村振興対策協議会、県市町村林野振興対策協議会、全国山村過疎地域振興連盟県支部は、二月二十八日、青森市のアップルパレス青森で、三団体共催による農山漁村活性化研修会を開催した。研修会には、町村長ほか県市町村の担当者等約六十名が出席した。

本研修会は、地域の価値ある自然や文化を継承しながら農山漁村の自立・再生を目指すことを目的に一昨年度から実施しているもので、今回

三回目。

研修会では、コモンズ代表でジャーナリストの大江正章氏が「どうつくる 地域の力」と題し講演した。講演の中で大江氏は、二十一世紀は農山村・脱成長の時代であり、経済成長を絶対的な目標にこななくても十分な豊かさを実現していく「定常型社会」を目指す必要がある。全国の自治体へのアンケート調査結果においても、拡大・成長ではなく生活の豊かさや質的充実の追

及が、今後の地域社会や政策の方向性の基本。さらに、若者世代の価値観の転換により、非農家出身の新規就農者が増加傾向にあると指摘。事例として、福井県池田町の自治体主導の資源循環とアンテナショップ、愛媛県今治市の自治体主導の地産地消と有機農業のまちづくり、埼玉県小川町の小利大安の世界を地域へ広げる等の取り組みを紹介した。また、元氣な地域の共通点として、前例にとらわれない発想とセンスを持ったリーダーの存在や、世代を超えた人と人の関係性の豊かさなどを挙げた。

お知らせ

「町村の魅力発信事業への助成」について

本会では、東北新幹線が全線開業したことを契機に、町村の魅力を発信する事業を実施した場合に助成金を交付する「東北新幹線全線開業効果活用事業」を、平成22・23年度の2カ年の事業で実施して参りました。

昨年発生した東日本大震災の影響から様々な活動が停滞したこと等を考慮し、平成24年度においても同様の趣旨の標記助成事業を下記の通り実施いたしますので、積極的なご活用をお願いいたします。

○主な助成内容

- 1 助成金額：1年につき50万円を限度に実費助成
- 2 助成対象経費
謝金、旅費、印刷製本費・複写費、賃借料、通信運搬費、共同事業に関する負担金、その他事業を行う上で本会会長が必要と認める事業

○申請期限

平成24年5月31日（木）までに、別に定める事業計画申請書を本会へ提出願います。

○その他

詳細は、本会業務課（電話：017-723-1331）までお問い合わせ願います。

平成24年度町村会関係主な行事予定

会議等の名称	日時	場所
町村長行政調査研修	5月23日（水）～26日（土）	台湾
町村会 理事会	6月4日（月）11時	町村会役員室
平成25年度重点施策の国会議員説明会	7月予定	青森市内
平成25年度重点施策提案活動	7月予定	東京都内
町村会 監査会	7月中旬予定	町村会役員室
町村会 理事会	8月上旬予定	町村会役員室
町村長健康管理研修	8月21日（火）～23日（木） 1日目 定期総会 15時 2日目 健康管理研修 3日目 半日ドック	鱈ヶ沢町 グランメール山海荘 青森市・総合検診センター
町村会 理事会	10月予定	町村会役員室
法令外負担金等委員会	11月予定	町村会役員室
県選出国会議員との懇談会	11月20日（火）17時	東京都・ホテルニューオータニ
全国町村長大会	11月21日（水）正午	東京都・NHKホール
北東北三県町村長中央研修会 （秋田県・岩手県町村会との合同開催）	11月21日（水）15時	東京都・ホテルニューオータニ
北東北三県町村長中央交流会 （秋田県・岩手県町村会との合同開催）	11月21日（水）17時	東京都・ホテルニューオータニ

上十三・下北地域づくり研究会 新規会員募集について

上十三地域づくり研究会並びに下北地域づくり研究会は、両地域の自治体職員や大学教員が職場の枠を超えた連携により、地域の課題解決に向け自発的研究を行うことで職員個々の資質向上を図ることを目的として、平成22年2月にそれぞれ設立しました。

平成24年度においても、自治体職員の資質向上を図るため、両研究会の活動を継続して進めて参ります。会員登録は随時受け付けることとしておりますので、詳細は本会業務課（電話：017-723-1331）までお問い合わせ願います。

○対象市町村

- ・上十三地域づくり研究会
十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、おいらせ町、六ヶ所村
- ・下北地域づくり研究会
むつ市、大間町、東通村、風間浦村、佐井村

○対象者

市町村職員、地域県民局職員、大学教授・准教授等、大学生、その他



田子町長

山本 やまもと

晴美 はるみ 氏

前町長の辞職に伴う田子町長選挙は、一月十五日、投票が行われ、新人の山本晴美氏（48）が、初当選を果たしました。
〈略歴〉町議会副議長



六戸町長

吉田 よしだ

豊 ゆたか 氏

任期満了に伴う六戸町長選挙は、一月十七日告示され、現職の吉田豊氏（62）が、無投票で六選を果たしました。
〈略歴〉町議会議長

青森県町村長等名簿

平成24年4月1日現在
町村数30町村(22町8村)

区 分		町 村 長	生年月日	当選回数	任期満了年月日	副町村長
東郡	平内町	船橋茂久	S24. 7. 17	1	27. 11. 14	山田光昭
	今別町	小鹿正義	S 6. 2. 18	3	25. 10. 12	阿部義治
	外ヶ浜町	森内勇	S13. 3. 2	2	25. 4. 23	
	蓬田村	古川正隆	S22. 6. 2	4	25. 11. 8	
西郡	鱒ヶ沢町	東條昭彦	S16. 4. 15	1	25. 12. 26	長内仁
	深浦町	吉田満	S28. 9. 9	1	24. 12. 20	本田満生
中郡	西目屋村	関和典	S42. 2. 24	2	26. 2. 25	
南郡	藤崎町	平田博幸	S32. 6. 2	1	27. 11. 19	
	大鰐町	山田年伸	S27. 3. 11	1	26. 7. 21	
	田舎館村	鈴木孝雄	S12. 2. 10	2	24. 11. 17	
北郡	板柳町	館岡一郎	S18. 3. 4	4	27. 4. 29	成田誠一
	鶴田町	中野撃司	S 4. 11. 7	10	26. 8. 20	山本一郎
	中泊町	小野俊逸	S17. 7. 29	4	25. 4. 23	
上北郡	野辺地町	中谷純逸	S24. 8. 16	1	27. 10. 26	杉田三生
	七戸町	小又勉	S24. 1. 2	2	25. 4. 23	大平均
	六戸町	吉田豊	S25. 3. 28	6	28. 1. 27	保土澤正教
	横浜町	野坂充	S26. 1. 31	2	24. 12. 11	新渡喜広
	東北町	斗賀壽一	S19. 7. 2	1	25. 4. 23	蛭名敏治
	おいらせ町	成田隆	S26. 2. 4	1	26. 3. 25	西館芳信
	六ヶ所村	古川健治	S 9. 5. 28	3	26. 7. 6	戸田衛
下北郡	大間町	金澤満春	S25. 3. 9	2	25. 1. 18	菊池武利
	東通村	越善靖夫	S17. 1. 7	4	25. 4. 12	林春美
	風間浦村	飯田浩一	S35. 5. 5	1	27. 4. 23	
	佐井村	太田健一	S26. 11. 25	3	25. 4. 21	
三戸郡	三戸町	竹原義人	S25. 11. 28	1	24. 12. 15	
	五戸町	三浦正名	S29. 1. 1	4	27. 6. 26	鳥谷部禮三郎
	田子町	山本晴美	S39. 4. 10	1	28. 1. 14	
	南部町	工藤祐直	S30. 5. 22	4	26. 2. 11	坂本勝二
	階上町	浜谷豊美	S31. 8. 23	2	25. 12. 23	久保和子
新郷村	須藤良美	S15. 3. 29	2	25. 5. 28	横田孝夫	



小川原湖の豊かな資源を活用

宝湖（たからこ）活性化協議会を設立

「宝湖美味満載の店」パンフレット完成！



東北町の新鮮な食材を使って開発したメニューのおいしさに、ちびっ子たちもニコリ

平成22年6月、東北町や小川原湖漁協などの関係団体が「宝湖（たからこ）活性化協議会」を設立しました。シジミやワカサギなどの魚介類のほか、ナガイモやジャガイモなど東北町の特産品を使った郷土料理の商品開発に取り組み、さまざまなイベントでPR販売を行うなど精力的な活動を続けています。

資源豊富な「宝湖」

小川原湖

もともと海の一部だった汽水湖・小川原湖は、数千年前から徐々に海と仕切られ現在の湖の姿が形成されていったと考えられています。八甲田山系に源を発し、湖面は青森県で最も大きくその面積は全国で第十一位。汽水湖としては全国で第五番目の広さを誇っています。

八甲田の自然豊かなミネラルをたっぷりと含んだ水質で、

度実施した勉強会が母体になり発足。会長には斗賀東北町長が互選されました。

地域特産品で

郷土料理の商品開発

協議会には、「新メニュー：加工品検討部会」と「地元消費拡大方策検討部会」を設置。協議会設立後、小川原湖の水産資源を使った「宝湖レシピ」の研究開発などに取り組み、このレシピをベースとした商品開発に取り組んできました。その結果、小川原湖で取れる豊富な魚介類の美味を堪能できる、「ワカサギコロツケ」や「シジミチーズ揚げ」等のメニューが考案され、昨年十月に開催された「おがわら湖美味（うめえー）満彩祭り」では、多数の来場者にPR販

宝湖活性化協議会の

設立

東北新幹線全線開業を9カ月後に控えた平成二十二年六月、「宝湖」小川原湖を活用した地域の活性化を進めるため、「宝湖活性化協議会」が設立されました。

協議会は、食をテーマに三



宝湖活性化協議会の会員が東北町の特産品を使った創作料理をPR販売



大勢の来場者が訪れた「おがわら湖美味（うめえー）満彩まつり」

「宝湖美味満彩の店」パンフレットを制作

また、東北町の魅力が詰

売を行いました。

また、これらの料理を味わうことができる店を紹介した「美味満彩の店パンフレット」が制作されました。地元飲食店等の協力を得ながら完成し

たこのパンフレットは、飲食店だけではなく水産物・農産物の旬も分かる優れたもの。このパンフレットのお披露目と新料理の試食会を兼ね、



しじみいちご煮茶碗蒸し



ガニ汁あんかけ焼きそば



長いもチーズ焼き



シラウオ丼

「宝湖美味満彩の店」パンフで紹介されている料理の一例

協議会の取り組みと地域活性化

協議会の設立と取り組みにより、従来関係が希薄だった農協、漁協、商工会が一同に集まることで、地域一体と

平成二十四年二月二十二日に協議会が開催されました。会場には、パンフレットを再現実るようにならざるままな料理が所狭しと並べられ、東北町の「食」の豊かさを存分にPRしました。

なった取り組みを進める土台ができました。今後、新メニュー開発に向けた取り組みを継続し、まだまだ知られていない東北町の素晴らしい食材・飲食店をPRし、地域活性化につなげていくこととしています。

※東北町の宝湖活性化協議会に関するお問い合わせは、協議会事務局の東北町役場商工観光課までお願いします。
【0176（56）3111】



問い合わせ先 外ヶ浜町産業観光課
TEL 0174-31-1228

4月下旬からゴールデンウィークにかけて「蟹としろうお祭り」が開催されます。期間中、蟹田川河口付近に特設店が開設され「しろうおの踊り食い」や濃厚なカニミソが特徴の「トゲクリガニ」などが味わえます。ホタテ釣りなどのイベントも用意しておりますので、ぜひお立ち寄りください。

※開催日は1週間程度前後する場合があります。詳しい日程は外ヶ浜町産業観光課までお問い合わせください。

春の味覚!! 蟹としろうお
を堪能しませんか

いまが旬!
外ヶ浜町
そとがはまぢ

東津軽郡



問い合わせ先 常盤ふるさと資料館あすか
TEL 0172-65-4567

資料館の柱である先人たち（版画家高木志朗氏、「農業の父」といわれた浅利崇氏、版画家円平仁氏）の作品等常設展示のほか、町内外の芸術・文化グループや個人アーティストによる絵画、彫刻、書道等の企画展も開催しています。

企画展の詳細については、随時藤崎町ホームページ等でお知らせしていますので、ご確認ください。

(<http://www.town.fujisaki.lg.jp>)

常盤ふるさと資料館あすか

いまが旬!
藤崎町
ふじはまぢ

南津軽郡



問い合わせ先 道の駅つるた「鶴の里あるじゃ」
TEL 0173-22-5656

町では、6月下旬から町特産のサクランボの収穫が始まります。この時期に合わせて、町内6つの園地では観光農園としてサクランボ狩りを楽しむことができます。高級品種「佐藤錦」のほか、さまざまな新品種のフレッシュな味を存分に味わうことができる「サクランボ狩り」にどうぞお越しください。1時間食べ放題・料金/大人1,000円/小学生700円 ※要予約

つるたの
サクランボはいかが!!

いまが旬!
鶴田町
つるたまぢ

北津軽郡



問い合わせ先 東北町商工観光課
TEL 0176-56-4148

「東北町桜まつり」が4月28日(土)から5月6日(日)まで、小川原湖公園で開催されます。

「へら鮒釣り大会」や伝統漁法「地引き網引き」の無料体験、小川原湖の新鮮な魚介類の味覚を味わうことができる試食会など、楽しいイベント盛りだくさんでお待ちしておりますので、ゴールデンウィークは千本桜が咲き誇る小川原湖公園でお花見をお楽しみください。

- 野だて 4月28日(土)
- 花切川へら鮒釣り全国大会 5月3日(木)
- 地引き網引き無料体験 5月5日(土)
- 小川原湖の新鮮な味覚試食会 5月5日(土)

千本桜が咲き誇る
小川原湖公園でお花見を

いまが旬!
東北町
とじほくまぢ

上北郡

いまが旬!

佐井村

さかいむら

下北郡

秘境「仏ヶ浦」へようこそ
観光シーズンが始まります!

いよいよ観光船の今シーズンの営業運航が、4月下旬から始まります。国の名勝及び天然記念物に指定されている「仏ヶ浦」。

佐井港・牛滝港から出航する観光船で、白緑色の凝灰岩が約2kmにわたり連なる壮大なパノラマを楽しみ、全景を見た後には上陸し、高さ90mもある岩などを間近で感じることができます。ガイド案内のもと、その絶景を味わってみませんか?みなさんのお越しをお待ちしています。



問い合わせ先 佐井村産業建設課 TEL 0175-38-2111
佐井村観光協会 TEL 0175-38-4515

いまが旬!

田子町

たっこまち

三戸郡

田子町ガーリックセンター

田子町中心街には、にんにく加工品などを取り扱うガーリックセンターがあります。施設内のギルロイカフェでは、麺ににんにくを練り込んだ「にんにくラーメン」や、第1回青森県どんぶりグランプリで準グランプリに選ばれた「にんじゃあ丼」など、にんにく好きにはたまらない料理の数々を楽しむことができます。

そして、食後のデザートには「にんにくソフト」がオススメ。ぜひ一度ご賞味下さい。

営業時間 午前9:00～午後6:00

定休日 なし ※臨時休業あり

休館日 12月31日～1月2日



問い合わせ先 田子町ガーリックセンター
TEL 0179-32-3165

いまが旬!

新郷村

しんきょうむら

三戸郡

春到来!

標高350mの高原に広がる65haという広大な自然滞在型観光レクリエーション施設として人気の「間木ノ平グリーンパーク」。宿泊施設には約500人収容の一般キャンプ場、八棟のバンガローや58区画のオートキャンプ場。男女別のシャワー室や水洗トイレ・食堂などの施設も完備。

今シーズンは4月22日(日)オープンです。ご家族お揃いでおいでください。



問い合わせ先 間木ノ平グリーンパーク
TEL 0178-78-3333

●お知らせとお願い

「あおり町村自治」は、会務活動状況及び災害共済諸事業の啓発事項、内部の事務組合及び内部団体の活動状況並びに町村財政関係事項、その他執務参考事項、教養事項、町村長の紹介及び町村の特集、企画記事等を掲載し、3カ月に1回季刊発行しています。

本ページの「町村トピックス いまが旬!」は、各町村の時期、季節の旬の情報をPRするコーナーで、イベント、観光スポット、施設、特産品、町の話・出来事などが満載!

各町村で、本紙への掲載希望事項等がありましたらご連絡ください。また、表紙写真や関連記事等掲載の際は、ご協力をよろしくお願いいたします。

●共済契約できる自動車

- あなたの所有する
- あなたと同一世帯に属する親族（同居の親族）の所有する

- 自家用普通・小型乗用自動車
- 自家用軽四輪自動車
- 自動二輪車●原動機付自転車

●共済掛金と共済金額

用途及び車種区分		共済掛金額（年間）			
		自家用普通・小型乗用 小型貨物車(660cc超)	自家用軽四輪乗用 貨物車(660cc以下)	自動二輪車 (125CC超)	原動機付自転車 (125CC以下)
A型	対人賠償	30,000円	19,000円	17,000円	12,000円
	対物賠償				
B型	対人賠償	33,000円	21,000円	20,000円	14,000円
	対物賠償				

※無共済等自動車傷害共済・他者運転特約も自動付帯。 ※自賠責保険と共済金の一括払も実施しています。

町村生協の自動車共済にご加入の皆様なら！

町村生協の自動車共済にご加入の方のみ、車両共済(保険)に加入できます

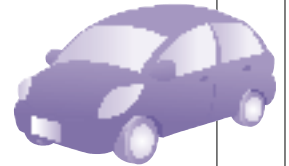
- 町村生協の自動車共済で過去3年間無事故で、新たに車両共済(保険)に加入する場合、新規契約と比較して

40%割引（9等級）からスタート！

- 一括払いでご契約の場合は、さらに **5%割引！**
- 保険料分割払（12回）も選択可能です。
- ロードサービスも無料でサービス！

いつでもご加入いただけますので下記までお問い合わせ願います。

問合せ先 全国町村職員生活協同組合青森県支部
青森県町村会総務課〔共済事業〕 TEL017(723)1331



自動車共済

万一の事故に備えを！

課・職名・氏名	主要担当業務
総務課 参事・総務課長事務取扱 澤田 憲郎 副参事 原子美香子 主幹 上原俊一郎 主事 成田 聖子 主事 高橋美登理 主事 工藤 誠子 臨時事務手 臨時事務手 小松田 真 臨時事務手 澤田 博美 臨時事務手 加賀谷尚輝 臨時事務手 松田 清子	(総務関係) 人事、規約・諸規程の改廃、予算、関係諸団体等との連絡調整、各業務の統合調整、総会その他の諸会議、総務厚生委員会、顧問弁護士、表彰、軽自動車税の移動、文書の收受・発送、各団体の予算経理、現金・有価証券の出納・保管、決算、物品の出納・保管、他の所管に属しないこと (共済関係) 公有建物・自動車共済、職員火災・自動車共済、任意共済保険、団体定期保険、総合賠償補償保険、個人年金共済、消防設備資金
業務課 参事・業務課長事務取扱 土岐 昌二 副参事 吉本 知己 主査 大坂 謙	事業計画、町村行財政の調査、政務調査委員会、法令外負担金の規制、要望・請願、町村長等・町村職員の研修会、会報「あおもり町村自治」、町

青森県町村会

常務理事兼
事務局長

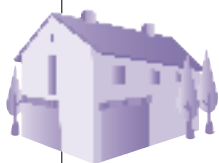
山口 昇

青森県町村会等事務分担

(平成24年4月1日現在)

確かな安心を！

住宅火災共済



安い掛金で大きな補償を

●共済契約できる物件

- あなたの所有する居住用建物、または、その建物内にある動産
- あなたと同一世帯に属する親族が所有し、かつ、あなたが現に同居している建物または、その建物内にある動産

●共済掛金と共済金額

共済掛金（年額）は共済契約1口（10万円）につき60円です。

契約額の最高限度は、600口で、6,000万円が限度です。

共 済 契 約 の 最 高 限 度			
区 分	口 数	共済金額	共済掛金
建物のみの場合	400口	4,000万円	24,000円
動産のみの場合	200口	2,000万円	12,000円
建物と動産を併せた場合	600口	6,000万円	36,000円

風水雪害特約制度

風水雪害特約制度は、風水雪害による損害について、火災共済契約に任意に付加することにより共済金を支払う特約制度です。特約を付加していない場合、風災、水災又は雪災による損害は、損害額が50万円以上の場合、損害の程度に応じ給付され、全損の場合では100分の10又は450万円のいずれか低い額の給付ですが、特約に加入することにより、火災共済契約の風水雪害共済金に加算して風水雪害特約共済金を損害額の50%又は火災共済契約額の50%のいずれか少ない額を限度に支払います。（ただし、風水雪害共済金と特約共済金の支払合計額が3,000万円を超える場合、3,000万円が限度となります。）特約共済掛金は、一口10万円につき50円です。（火災共済契約と同額を特約共済金額とします。）



青森県市町村総合事務組合

事務局長 山口 昇

臨時事務手 神谷絵里香

村職員採用試験、町村の振興発展に関する調査・研究、県広報広聴協議会、全国山村過疎地域振興連盟県支部、発電関係市町村全国協議会県支部

課・職名・氏名	主要担当業務
総務課 参事・総務課長事務取扱 ・会計管理者 澤田 憲郎 副参事 原子美香子 主幹 上原俊一郎	消防団員等公務災害補償等に関する事務、非常勤職員公務災害補償等に関する事務、自治会館の管理・運営に関する事務
市町村税滞納整理機構 滞納整理課 機構長 古村 美鶴 課長 高橋 淳一 副参事 伊藤 義章 主任幹事 木村 拓司 主任幹事 岩館 和彦 主任幹事 平野 法泉 主幹 加藤 奨 主幹 小山 孝 専門員 木村 榮一 非常勤事務員 櫻田のぞみ	市町村税等の滞納整理に関する事務

こがわ
古川

まさ たか
正隆

蓬田村長



随想

第13話

プロフィール

村農林水産課長、村体育協会副会長。現在4期目。64歳。

地域の活力ある 企業を目指して

国内の産業空洞化が叫ばれ始めたのは、一九八〇年代頃から。右肩上がりの国内経済が、未来永劫に続くのではないかと錯覚していた国民も多かったのではないだろうか。中国が文化大革命を経て、改革開放政策を打ち出した一九七八年頃から日本の経済構図が変わってきました。日本企業は、安価な賃金を求めて中国、東南アジアへと進出していきました。低価格な商品を生産する繊維産業の企業が皮切りとなり、割高な賃金を安価に抑えるため、いち早く工場を中国へと移していきましました。これに伴い、国内では、過疎町村に誘致されたほとんどの工場が、徐々にその煽りを受けて倒産してしまつたのです。今では、国内に残り頑張っている繊維工場は数える程しかなく、当村の「(株)蓬田紳装」もそのひとつです。

「蓬田紳装」の創設は、昭和五十二年。農業はまだ景気が良く、米の価格も現在と大きく異なり一俵が一万七千円程度でした。しかし当時の村長は、輸入の増加していく一次産業の将来を危惧し、また農業がめざましく機械化していく中、農家の余剰人員をどう吸収していくかを思案しました。そこで考えたのが、縫製工場を建設し、北海道小樽市に本社がある「北奥羽紳装」の関連企業として参加させてもらうことでした。

創設当初は、蓬田村が100%出資会社として始まりましたが、社員は全くの素人のため、訓練しても一朝一夕には技術が向上せず苦勞の連続でした。しかし、長年の地道な指導と、元来、手先の器用な農家の女性が多かったためスーツの品質が安定し、平成の大不況を何とか乗り切ることが出来ました。そこに平成十一年、取り引きしている大手企業が下請け企業の合理化に着手したことによりチャンスが訪れました。企業は関連の子会社を整理統合することになり、同じ誘致企業でも、村出資の「蓬田紳装」は従業員も安定し、また長年培われた技術力により存続の運びとなりました。さらに村では今後の合理化対策として議会と協議し、生産力の強化を図るため「設備投資と新規雇用の創出を行い、百人の従業員を倍増して二百人体制にする」運営方針を決めました。早速、第二工場の建設や、裁断機等々に投資し、三億円近い設備を施しました。また近隣市町村には、閉鎖した縫製工場の技術者が多くいたため、幸いにも従業員の採用には困りませんでした。おかげ様で現在は、その高い技術力を評価され、首都圏の有名百貨店とも多数提携しており、活力ある企業として頑張っているところです。

こうした中で、依然として企業が抱える問題もあります。国が進めてきた企業年金に、アパレル業界もが加入し、受給者に対して掛金を支払っている労働者は、一人で二人分以上の掛金を支払っているのです。中小企業が企業年金を支払い続けていくことは、倒産に結びつくことが目に見えています。この問題の解決に向けて、私も昨年末に、「国は、赤字企業基金を解散させるべきである」と各政党に陳情に行ってきたところであり、私も早く、解決してほしいものであると考えております。

我が蓬田村は、基幹産業を農業、漁業に頼ってきた過疎の自治体でしたが、これからは一次、二次産業の両輪に加え、特産品を創造し、新たな産業として確立して行く六次産業までを強力に推し進めていきます。

誘致企業はもちろん、村の財政状況においても、これからはますます厳しい運営になることが予想されますが、これまで同様、住民の生活を守ることを第一に考え、村行政を担ってまいりる所存であります。